

経営協議会学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成26年度）

意見の内容	意見への対応
「修士課程と教職大学院の一本化等について」	本学の大学院（修士課程及び専門職学位課程）の在り方及び将来構想について検討し、その問題点、課題及び論点を整理するため、平成27年10月23日付けで宮城教育大学大学院等組織改革検討プロジェクトを設置し検討を重ね、報告書を平成28年5月10日付けでまとめた。
「教育復興支援センターの継続について」	平成28年3月31日で時限となった教育復興支援センターの後を引き継ぐセンターとして、平成28年4月1日付けで「宮城教育大学附属防災教育未来づくり総合研究センター」を設置した。
「教員就職率について」	「これまでの学生生活を振り返り、今後の学生生活の目標を立てさせる」「教職に関する意識を向上させ、教員採用試験に向けた準備を行う」ことをねらいに、「2年次キャリア形成研修」を平成27年度に開講した。
「広域拠点型大学として、東北地区の各国立大学や各県の教育委員会との取り組みについて」	平成26年3月に「東北教職高度化プラットフォーム会議」の名称で設立したコンソーシアムにおいて、さまざまな連携を実施する目的で、まず平成26年8月に東北地区6国立大学長と東北の教育長協議会との意見交換を行なった。また、鳴門教育、上越教育、福岡教育、本学で進めているBPプロジェクト（いじめ防止支援プロジェクト）を東北全体に広げる取組として平成27年12月に東北六県の教育関係者を対象とした「いじめ防止研修会」を開催した。さらに、平成28年6月2日、教員研修センターとプラットフォーム会議が協定を締結した。